植木健康福祉センター プール施設利用規則

■利用原則

以下内容に当てはまる方は、ご利用できません ※以下内容を厳守出来ない方は、利用をお断りします

- ・酒気帯びの方
- ・伝染性の病気にかかっている方、体調のすぐれない方
- ・刺青、タトゥーが広範囲にある方 ※水着、ラッシュガードなどで隠していただいた場合のみ利用可
- ・オムツ、トレーニングパンツ、介護用(大人用)オムツを使用の方
- ・他人に危害を及ぼし、又は他に迷惑となる恐れのある行動をする方、及び危険物を 携行する方
- ・施設の管理運営上支障があると認められる方
- ・注意事項や監視員の指示を守れない方

■プール利用規則

- ・ご利用の際は、必ず水着・スイムキャップの着用をお願いいたします ※水着以外での服装でのご利用は出来ません スイムキャップ・ゴーグル・タオルの貸し出しはしておりません
- ・プール利用前は、必ずシャワーを浴びてからご利用ください
- ・化粧、整髪料、湿布などは十分に洗い流してから入水ください
- ・怪我につながる危険のある貴金属(ネックレス、ピアス、ブレスレットなど)、 金属時計等は外してから入水ください
 - ※ウェアラブル端末を身に着けてのご利用は可能です(自己責任でお願いします) 必ずカバーをご利用ください
- ・携帯、スマートフォンの持ち込み及び使用は禁止いたします
- ・場内での写真、ビデオ撮影は、他の利用者のプライバシー保護のため禁止いたします
- ・プール場内での食事は出来ません
- ・水筒、ペットボトル等蓋付きの水分の持込みは可能です ※入水したままの水分補給は、衛生上お断りいたします。水質維持にご協力ください
- ・貴重品は、必ずロッカーに入れてご利用ください
- ・プールサイドを走る、飛び込み、潜水などは事故の原因となりますので禁止いたします
- ・オムツが取れている3歳から利用可能です
- ・小学3年生以下は、保護者同伴(水着を着て入水)でご利用ください
- ・保護者1名に対し、小学3年生以下2名までご利用いただけます ※保護者の方はフロントにてカラーバンドをお受け取りください
- ・17:00 以降の小学生の利用は、保護者の同伴が必要となります
- ・車イスでの入場が可能です
- ・歩行コースは中学生以上がご利用できます ※幼児等付き添いが必要なお子様がいる場合は抱っこして歩行してください

- ・浮き輪、ビーチボールなどの遊具及びおもちゃの持ち込みは禁止いたします ※ビート版、アームヘルパーのご利用は可能です アームヘルパーは小学3年生以下のみご利用できます
- ・フィン、シュノーケル、パドルのご利用は出来ません
- ・プール利用最終時刻は、20:45までとなります
- ・注意事項及びプールスタッフの指示にご協力ください

スタッフ用

【コース毎のルール】

☆歩行コース

- ・右側通行
- ・追い越しOK
- ・UターンOK

NEW・利用は中学生以上、幼児を抱っこして歩くのは OK

→小学生は歩かずに立ち止まって遊んだりされるとトラブルに繋がる為

☆初心者コース

- ・右側通行
- ・立ち止まり OK
- ・UターンOK
- ・歩行禁止(明らかな歩行行為は声掛け)

☆中上級コース

- ・右側通行
- ・25m泳げる方
- ・歩行禁止
- ・25m地点での立ち止まりはOK

☆自由コース

- ・泳ぎ、歩行OK
- ・右側通行
- ・迷惑行為禁止

☆ジャグジー

・時間制限は決めていませんが、ゆずり合って利用してもらうよう声掛けをおこなう

【アームヘルパーについて】

- ・小学3年生以下は利用OK
- →ふざけて使ったり、それによって破れたりするのを防ぐため

【レンタルについて】

・ゴーグルのレンタル禁止

→目の病気予防の為

・キャップも原則貸し出しはしておりませんが、どうしても貸し出す場合は、 貸出台帳に名前(カタカナ)、帽子の管理番号、貸出時間、貸出スタッフのサインを記入 返却時は受け取ったスタッフのサインを記入

貸し出す帽子の在庫は 10 個とします。帽子それぞれに「かがやき館①」のように番号を書き、管理します。①~⑩まで。

- →貸し出す帽子をしっかりと管理する為
- ・メガネ着用者へはメガネバンドを渡す 帽子と同じく貸出台帳に記入
- ・時計のカバーも同じく台帳に記入
 →金属時計は禁止(外す)。その他時計、スマートウォッチはOK。必ずカバーを着けてもらう。
- ※台帳記入等を1箇所で管理する為、レンタルは全てコントロールで行う。 フロントにあるものもコントロールへ移動

【親子連れについて】

旧ルール:小学3年生以下のお子様連れには、それぞれにカラーバンドを渡す

新ルール:小学3年生以下のお子様連れには、保護者にのみカラーバンドを渡す

→夏場など親子が増えた際の対応ができない為。カラーバリエーションや数にも限界がある。バンドをつけた保護者が子供を連れていなかった場合に声掛けをする

【監視について】

・服装:水着着用、Tシャツ、ハーフパンツ、サンダル、笛、シーバー ※短時間のスポットで監視に入る場合も必ず守る 緊急時にすぐに飛び込めるように

・パトロールはコントロールと対角の位置を基本位置とする(自由コース側)。光の反射等で見えない部分や死角もある為、歩き回って監視する。最低でも担当時間内に1回。